

鴨川市教育委員会 11月定例会会議録

1 日 時 平成28年11月22日(火) 開会 午後2時00分
閉会 午後3時00分

2 場 所 鴨川市文化財センター学習室

3 出席委員 (1) 村上修平 (2) 石井千枝 (3) 根本新太郎
(4) 吉原里夏 (5) 野田 純

4 出席職員 (1) 瀧口正勝 (2) 黒野雅典 (3) 鈴木克己
(4) 山口政美 (5) 羽田幸弘

5 委員報告

- ・吉原委員から、鴨川中学校所長訪問と千葉ロッテマリーンズの野球教室への出席報告がなされた。所長訪問で初めて鴨川中の授業を見たが、活発な意見が多く参加型の授業が見られた。また、いじめを取り上げた授業では、いじめを隠さず報告するという姿勢から、望ましい人間関係に向けた取り組みへの積極性を感じた、との感想が報告された。
- ・石井委員から、教育長教育委員研修会、安房地区教育委員会連絡協議会研修視察、鴨川中学校所長訪問、江見小学校市教育委員会訪問、田原小学校安房地区教育委員会連絡協議会公開研究会への出席報告がなされた。教育長教育委員研修会では、新教育委員会制度での運営方法の工夫や開かれた学校をテーマにした話し合いがなされた。鴨川中学校や江見小学校での訪問では、どちらも落ち着いた雰囲気の中で授業に臨んでいた。また、きれいな環境での教育の大切さを感じた。田原小学校の公開研究会では、タブレットを活用した反転学習の取り組みが見られ、英語に積極的に関わる姿勢を感じた。鴨川中学校へ進んでからの田原小卒業生の継続的な取り組みに期待したい。また、外国語活動では、話そうという心の部分が大切である、との感想が報告された。
- ・根本委員から、教育長教育委員研修会、鴨川中学校所長訪問、江見小学校市教育委員会訪問、田原小学校安房地区教育委員会公開研究会への出席報告がなされた。学校訪問では、教員の不祥事防止、多忙化解消、若手教員の社会性の指導についてどの学校も話題にしており、対応策としてチームでの取り組みを強調していた。また、各学校で避難器具や避難所の表示があったが、表示方法の工夫が必要など

ころがあった。田原小学校では、英語学習によく取り組んでいる様子が伺えると同時に、小学校の先生の英語指導は大変であろう、との感想が報告された。

- ・村上委員長から、安房地区教育委員連絡協議会研修視察、鴨川中学校所長訪問、江見小学校市教育委員会訪問、田原小学校安房地区教育委員会公開研究会への出席報告がなされた。安房地区教育委員連絡協議会研修視察では、筑波宇宙センターを見学し広くゆったりした印象を受けた。鴨川中学校訪問では改めて広いと感じるとともに、授業は大変落ち着いた印象を受けた。また、理科室が3つあることに驚いた。江見小学校訪問では、旧江見中学校の名残が見える中、とてもきれいになった印象を受けた。また、道徳の授業では、つい引き込まれてしまうようなすばらしい授業を行っていた。田原小学校訪問では、タブレットを活用した反転学習を見せてもらったが、大学教授による講演会では、予習よりも復習をしっかりやることが大切である、との言葉が印象的であった。最後に、横浜の小学校のいじめ問題がニュース等で話題となっているが、鴨川市では、いじめ問題に対してしっかりと指導してほしい、との意見や感想が報告された。

6 教育長報告

- ・野田教育長から、鴨川市小学校科学研究発表会、千葉ロッテマリーンズキャンプ、文化施設運営協議会、鴨川中学校所長訪問、鴨川市小中音楽発表会、江見小学校市教育委員会訪問、田原小学校安房地区教育委員会公開研究会への出席報告がなされた。鴨川市小学校科学研究発表会と鴨川市小中音楽発表会では、あいさつの中で、いじめをなくす中心となってほしい、ということ传达了。これからも子どもたちの集まる機会ごとに伝えていきたいと考えている。千葉ロッテマリーンズキャンプ歓迎式では、昨年より観客数が増えている印象を受けた。文化施設運営協議会では、旧曾呂小学校の跡地活用について話し合いをもった。鴨川中学校では委員の皆さんと同様に、子どもたちと教員の表情が大変良いと感じ、明るい印象を受けた。江見小学校では、2年目として昨年より落ち着いてきた印象をもった。田原小学校では、子どもたちの表現力が堂々としており、相手に伝えようとする意識が感じられた。また、反転学習では、子どもたちが自力で学習に取り組める力をつけることがねらいと捉えている、との意見や感想が報告された。

7 議 事

(1) 議案第1号「鴨川市いじめ問題対策調査会委員の委嘱について」

- ・瀧口学校教育課長から、「鴨川市いじめ問題対策調査会委員の委嘱について」資

料をもとに説明がなされた。

- ・村上委員長から、この会議は定例で開催されるものなのか、または、いじめ等が起きたときに開催するものなのか、との質問がなされ、瀧口学校教育課長から、基本的には年1回は定例で開催するものであり、かつ、いじめの重大事態の疑いが生じた場合に開催する、との説明がなされた。
- ・村上委員長から、鴨川市いじめ問題対策調査会と鴨川市いじめ問題対策連絡協議会との差は何でしょうか、との質問がなされ、瀧口学校教育課長から、いじめ問題対策調査会は専門的な見地からの調査が目的で、いじめ問題対策連絡協議会は、関係機関の連携を強化し、いじめ防止等のための対策を推進することを目的にしている。特に小中学校の現場の教員と関係機関の連携の深まりを期待している、との説明がなされた。
- ・村上委員長から、両会議はリンクして行われるものなのか、との質問がなされ、瀧口学校教育課長から、別々に開催するものである。また今年度は、初めて開催を予定しており現在日程を調整中である、との説明がなされた。
- ・野田教育長から、調査会の方は学校関係者を除いており、第三者という立場での組織となっている。横浜の問題では、学校や教育委員会がいじめと認識しなかったが、この辺りが問題であろう、との説明及び意見がなされた。
- ・根本委員から、このいじめ問題対策調査会は誰が招集するものなのか、との質問がなされ、羽田子ども支援課長から、鴨川市いじめ防止対策推進条例には、いじめ問題対策調査会会長が招集することとなっている、との説明がなされた。
- ・根本委員から、どうやって会長を決めるのか、との質問がなされ、瀧口学校教育課長から、委員の互選により定めることとなっている、との説明がなされた。
- ・根本委員から、いじめの重大事態とは誰が決めるのか、との質問がなされ、瀧口学校教育課長から、学校と市教育委員会が協議し判断すると同時に、いじめ問題対策調査会を活用し、調査会会長が会議を招集することとなっている、との説明がなされた。
- ・根本委員から、いじめに関する情報はどこからどうやって集めるのか、との質問がなされ、瀧口学校教育課長から、基本的には学校で情報を収集し、些細な情報についても市教育委員会に報告することとなっている。その中で、重大事態と認知した場合には、いじめ問題対策調査会に報告し調査することとなっている、との説明がなされた。
- ・他に質疑なく、全員の下承が得られた。

8 その他

(1) 12月の教育委員会行事予定について

- ・各所属長から、「12月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに説明がなされた。

(2) その他

- ・黒野生涯学習課長から、成人式の案内について説明があり、教育委員へ協力依頼がなされた。
- ・羽田子ども支援課長から、東条地区幼保説明会の内容について説明がなされた。
- ・鈴木スポーツ振興課長から、全日本女子ソフトボールチームの鴨川キャンプについて説明がなされた。

村上教育委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成28年12月20日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

会議録作成者 瀧口 正勝